



横浜駅周辺大改造計画

お元気ですか！

横浜開港150周年イベントは、7月4日に地元の動物園ズーラシアに隣接するヒルサイドステージ（～9月27日）がいよいよスタートします。みんなで盛り上げたいですね。

さて、今回は私たちがよく利用する横浜駅周辺の街づくりについて考えてみたいと思います。

●「横浜駅周辺大改造計画」- 横浜市の素案

横浜市では「横浜駅周辺大改造計画素案」を3月に発表しました。先日も市民向けのシンポジウムがありましたが、今後も多くの方の意見をお伺いして、横浜駅周辺の将来のあるべき姿を決めていきますので、是非皆様のご意見をお聞かせください。

●横浜駅の課題1：自然災害に対する弱さ

横浜駅は現在鉄道会社6社9路線が乗り入れ、一日約200万人の乗降客数があり、首都圏有数のターミナル駅となっています。羽田空港や新横浜駅へのアクセスも便利です。多くの方が、横浜市に住んでいるのに横浜駅に行くことを「横浜へ行く」と言っているのは、それだけ横浜駅周辺に行けば、東京に行かなくても買い物や食事・映画など魅力あるスポットがたくさんあるからだと思います。ただ、横浜駅周辺は商業施設が多いのに比べて、文化芸術的な施設が少ないのも特徴です。都内に行く機会も多いのですが、横浜駅に着くとホッとするのは、私だけではないと思います。（笑）

便利な横浜駅ですが、課題も多くあります。横浜駅周辺には、昭和30年代から40年代に建設された建物が多く、地震に対する安全度が低いことや集中豪雨による浸水など、街として自然災害に対する弱さが専門家からも指摘されています。

●横浜駅の課題2：バリアフリーが不十分

また、個人的に感じることは相鉄線横浜駅改札から東口方面に行くのに階段が多く動線が悪いため、旅行などでスーツケースを持って移動するのに不便です。ましてや、車いすの方の苦勞を思うと何とか改善しなければならないと思います。

将来の横浜駅周辺は完全バリアフリーで防災に強く、屋上緑化や壁面緑化で緑が多く環境にやさしいことや、駅西口と東口間の歩行者や車のスムーズな移動、さらには、みなとみらい地区や関内地区との回遊性が向上し、海上交通が活性化されていることが理想です。

●皆様のご意見でより良い改造を！

「横浜駅周辺大改造計画素案」の概要は裏面の通りですが、詳細をお知りになりたい方は、インターネットの検索エンジンで「横浜駅周辺大改造計画」と入力していただければ見つかります。パソコンが苦手な方は私の事務所か都市整備局都市再生推進課（045-671-3679）へお問い合わせください。皆様のご意見をお待ちしております。（下記にご記入後、FAXしていただいても結構です。）

今回も最後までお読みいただき有難うございました！引き続き新型インフルエンザにはご注意ください。

追伸：今まであまり続かなかったブログが珍しく続いています。携帯からもご覧いただけますので、一度ご覧いただければ幸いです。

横浜市会議員 古川直季

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学・明治大学公共政策大学院 卒業
横浜銀行勤務後、衆議院議員松沢成文（現在神奈川県知事）秘書
平成7年4月 横浜市会議員初当選（26才最年少）
平成19年4月 4期目トップ当選（20,056票）★2期連続市内最高得票
現在 平成21年 都市経営・行政運営調整委員会 委員長
同 大都市・行財政制度特別委員会 委員
自民党横浜市会議員団所属 党市連女性局長

横浜駅周辺大改造計画に対するご意見をお寄せください！ 古川事務所FAX 366-9700

	お名前：
	メール： (メルマガ発行予定)
	TEL：
	ご住所： (レポートを3か月毎に郵送させていただきます。)

ご連絡いただいた個人情報には当事務所にて適切に管理いたします。

横浜駅周辺大改造計画素案（概要）

※横浜市ホームページより抜粋

■ 横浜駅周辺 7地区別の将来市街地イメージ

- (1) 横浜駅地区 ~世界と横浜をつなぐ玄関口、ホスピタリティあふれる横浜の顔~
- (2) 高島地区 ~横浜の発展を支える新しい都市機能と優れた景観・環境を備えた複合市街地~
- (3) ポートサイド地区 ~「アートとデザイン」をテーマとする複合機能を備えた都心居住地~
- (4) 南幸地区 ~様々な人々が楽しめる商業・文化・エンターテインメントのまち~
- (5) 北幸地区 ~成長企業が地域に生まれ、有力企業に共存して活躍するビジネスのまち~
- (6) 鶴屋町地区 ~明日をになう人材を育てる、交流・賑わいのまち~
- (7) 平沼地区 ~横浜駅にもみなどみらいにもアクセスしやすい利便性の高い住宅・業務市街地~

<1> まちづくりのビジョンと将来像（ビジョン編）

1. まちづくりの基本理念

- 1 安全安心を実感できるまちを目指します
- 2 都市機能の強化と新たな魅力を創出します
- 3 新たな環境の創造に取り組みます
- 4 エリアマネジメントによるまちの運営を目指します

2. まちの将来像

1) 将来像

- 世界から人々をいざなう『選ばれるまち』
- 心地よく、心に残る場面にあふれた『魅了するまち』
- まちに関わるすべての人が『誇りに思うまち』

将来像実現に向けた目指すべき市街地構造

○目指している市街地の構造

- ・高次機能が集積し、高度かつ立体的な土地利用によるセンターゾーンの形成
- ・センターゾーンを包み、親水性の高い、魅力ある市街地をつくる水辺空間「ターミナル」としての横浜駅とその隣接地区の機能強化（コアの形成）
- ・コアと周辺、隣接地区（みなどみらい21地区等臨海部、内陸）との連携強化
- ・海及び臨海部と内陸部とをつなぎ人や空間の新しい流れを形成

<2> まちづくりの戦略（戦略編）

まちの将来像を実現していくための地区全体の重点的な取組みの基本方針

・ 横濱中心戦略 ~アジアの交流センターに向け、新たな開港~

- 羽田空港への近接性を活かし、世界と結ばれた都市活動・交流拠点の形成
- 国際都市横浜の玄関口の形成
- 首都圏の重要な広域拠点としての機能向上
- 魅力ある生活・文化創造拠点の形成

・ 環境創生戦略 ~横浜発・環境で世界をリード~

- まちの機能更新に伴うエネルギー効率の向上と環境負荷の低減
- 水と風と緑を感じ、うるおいのあるまちづくり
- まちぐるみでの取組みによる良好な環境の形成

・ 安全安心戦略 ~誰もが安心して集える場へ~

- 民間と行政が連携・協力した都市防災機能の強化
- まちの力を活かせる「安全・安心」の体制づくり

・ 感動空間戦略 ~忘れられないシーンを演出~

- 周辺市街地との連携を意識した、横浜の玄関口として新たな都市空間を創造
- 地区の特徴を活かした、横浜らしさを感じることができる景観の形成

・ 悠々回遊戦略 ~ハマ時間を満喫できる境界の創造~

- 駅東西が一体となる回遊性の向上
- 歩きやすく、わかりやすい歩行者空間の形成
- 個性と魅力が感じられる「通り」の創出

・ 交通転換戦略 ~公共交通の利用促進~

- 総合的な交通結節機能の強化
- 公共交通を優先した交通施策の展開
- 歩行者と自動車の錯綜の解消

・ 協働共創戦略 ~みんなで作くり、はぐくむ~

- エリアマネジメント組織とプラットフォームの形成
- 地元主体のエリアマネジメント
- 活動と成果・検証等の循環によるまちの価値向上

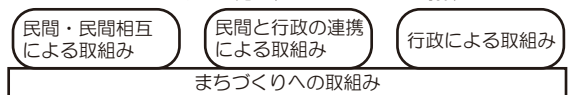
□重点的なプロジェクト 世界に誇れる駅プロジェクト
交通転換・拡充プロジェクト
水のまちプロジェクト

横浜市の新型インフルエンザ対策進捗状況

6月に入り、横浜市でも数名の感染者が確認されています。
横浜市では、第3回新型インフルエンザ対策本部会議（5月11日）にて、下記10項目を決定しました。

項目	説明	明
1 発熱相談センターの体制強化	・平日、休日24時間対応と体制の増強 ・区の夜間・休日の電話転送を検討	
2 発熱外来の設置	・国内患者発生時に、9か所の即時開設 ・増設の検討	
3 市衛生研究所の検査体制の強化	・PCR検査機器(2台目)の調達 ・検査関連機材の増強	
4 検体の輸送体制の整備	・保健所、衛生研究所、市民病院による輸送体制の確保 ・消防本部の緊急車両による輸送(緊急時)	
5 タミフル又はリレンザの備蓄	・市独自備蓄分(5,500人分)の増量の国への働きかけ ・市民向け備蓄の前倒しを国と県に要請	
6 感染予防用マスク・消毒用アルコールの購入	・マスク(60万枚)、消毒用アルコール(6000ℓ)を緊急購入 ・マスクの現段階の必要量については、各区部で調達し、今後の感染拡大に備え、必要となる分は市本部で調達を検討	
7 庁舎内における感染防止対策の強化	・国内患者発生時、庁舎入口でマスクの配布や消毒用アルコールを設置 ・サーモグラフィーの導入を検討	
8 市民への予防策の奨励	・あらゆる広報手段を使って、手洗い、うがい、マスク着用を呼びかけ(例)公共施設にポスター掲示 ・外国語・点字への対応など	
9 事業者への感染予防に向けた協力の要請	・商工会議所など様々な経済団体を通じ、市内事業者に対して、感染予防に向けた広報を依頼 ・観光事業者(ホテル等)への周知 ・事業所自らの感染防止の徹底を要請	
10 児童・生徒への予防策の指導強化	・市立学校(613校)において、児童・生徒の健康観察を徹底するとともに、手洗い、うがい等の予防策を実施するよう指導	

<3> まちづくりの進め方（マネジメント編）



横浜駅周辺の将来像の実現

古川なおき朝食ミーティング

<スケジュール>

7月4日(土)「マクドナルド」瀬谷eモール1F 朝8~9時30分(遅刻、早退自由)

8月は、お休みです。●9月の予定はレポートまたはブログでお知らせ致します。

★会費 ご自分で注文した分を直接お店へお支払いください。

※当日、必ず「古川なおきレポート」をご持参ください。
※特別に席を予約しているわけではありません。

本ミーティングは全体で議論する会ではありません。ご提案される内容について詳しくお話をしたい方は、別に日を設定させていただきますので、事務局までご連絡ください。

<第3回朝食ミーティング 報告>

今回は雨天ということもあってか、参加者は「横浜FMマリンズ」取締役の中村さんお一人だけでしたが、その分じっくりと、スポーツという切り口からいかに地域社会に貢献するかをお聞きすることができました。詳しくはブログをご覧ください。



古川なおきブログ 更新中!

古川なおき ブログ 検索 検索してください。

古川なおきの、政治に真っ直ぐな姿勢を貫く原点に何があるかを是非ご覧下さい。



携帯からもご覧いただけます。

古川なおき政務調査 事務所
〒241-0825横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL: 045-391-4000 FAX: 045-366-9700
Mail: naoki@furukawa2002.com
URL: http://www.furukawa2002.com

